

# 瓦版

## かわらばん



NPO

熊取子どもとおとなの  
ネットワーク

# No.1

発行日：2024年5月10日

発行：NPO熊取子どもとおとなのネットワーク 〒590-0432 大阪府泉南郡熊取町小垣内1-10-18 中内ビル2階 TEL072-451-1550

## 1年生148名、2～6年生20名の新入所のみなさん、保護者のみなさん

### ようこそ熊取学童保育所へ！ 入所おめでとうございます！

『NPO』は、「熊取町学童保育所」の指定管理者として町内「通年利用」16クラブと「長期休業期間限定利用」（以下「限定利用」）3か所の運営と管理をおこなっています。2024年度に向けては「通年利用」「限定利用」ともに入所申請者が多く、施設の許容人数以上の申し込みがありました。施設の許容人数をオーバーした学童（クラブ）については、『入所選考基準表』に基づいて審査をおこない基準点の順位に応じて入所（クラブ）決定をおこないました。2月時点で中央・西・東学童保育所では入所できない子どもが出ました。入所保留となった保護者の方たちから、『NPO』にたくさんの問い合わせや、不安・心配の声が寄せられました。4月に向けて、待機児童を出さない対応について何度も熊取町と協議を重ねながら、NPO理事会（保護者・保護者OB・職員で構成）を開催し、入所決定と保育体制を決めて運営してきています。

### \*東学童入所保留の子どもたち5名は、東学童くれよんクラブ分室(大宮ルーム)にて保育開始！

#### 3/25 保護者説明会開催 保護者9名、熊取町2名、NP04名、支援員4名出席

熊取町からの経過説明では、「秋に入所調査をしたところオーバーが見込まれたので3クラブ化に向けた施設整備を目指したが、場所の合意形成ができず、東小学校区内に一戸建て賃貸住宅にてくれよんクラブ分室(大宮ルーム)を開設し、保育を始める。分室の近くの大宮運動公園も利用できる」との説明がありました。

保護者たちからは

「小学校まで支援員に迎えに来てほしい」「外あそびをさせてほしい」「支援員は複数体制にしてほしい」

「きょうだい別のクラブに決定され、別になる不安がある」

「待機や保留、保育場所決定など、子どもも保護者も振り回された。来年度はこういうことは困る」

「来年度の整備のめどはどうか？ 具体的な方向性は決まっているのか？」

などの質問や意見がだされました。

熊取町からは、「3クラブ目が必要なことは認識している。場所を決めて予算計上の手続きを取り組んでいきたい。」と回答がありました。保護者からは、「後手後手にならないように、熊取町が方法を探りながら、早めに規模・プランを出して、予算確保をお願いしたい。今年の入所保留のような思いを誰かがするようなことは困る。安心・安全に継続して預けられるように、整備をお願いしたい。」と訴えられました。

『NPO』は、熊取町に東学童3クラブ化に向けた早期施設整備を引き続き要望していきます。

## \*中央学童入所保留の子どもたち7名は、熊取町が送迎のもと南ともかぜ村で保育開始!

### 3/26 保護者説明会開催 保護者 8 名、熊取町 2 名、NP04 名、支援員 3 名出席

熊取町からの経過説明は、「秋に入所調査をしたところ許容人数ぎりぎりの人数であった。4月に向けて申請者が許容人数をオーバーしたので、熊取町により南学童への送迎をおこなうことにした。町がレンタカーを借りてシルバー人材センターに運転・添乗員を依頼して手配し、中央小学校から南学童へ送っていく。また、施設整備については、今後の少子化もあり推移の見極めも必要で、中央小グラウンドを利用して整備するまでの考えには至っていない」と説明がありました。

保護者たちからは

「高齢者の車事故が多い中で、安全が確保できるのか。コストが上がるからと、シルバー人材センターに頼るのは不安がある。人材の選定は十分におこなってほしい。安全な運転テストも町が行ってほしい」

「保護者が毎日南学童までお迎えに行くのが、間に合わない」

「きょうだい別のクラブに在籍していて、お迎えが2か所になる負担がある」

「毎年、こういう措置を続けるのか。保育してもらえるのはありがたいが、繰り返されるのは残念。子どもの成長は同じ学童保育で継続して積み上げていくものがある。いつ中央学童に戻るのかわからない。

少子化というが、今いる子どもたちにとってどうがよいのかに寄り添ってほしい」

等の質問や意見がだされました。

熊取町からは、「体調管理やアルコールチェックの体制と運転のルート確認等を町が責任をもっておこなう。チェック方法は、より安全になるようにしていく。何らかの形で保護者に返答する。」との返答がありました。その後、再検討がおこなわれ、5/7よりタクシーによる送りに変更になります。

理事長は、「少子化というが学童保育を必要とする子どもは確実に増えている。小学校は人数が増えれば増設になるが、学童保育は後まわしになる。熊取町全体として小学校が増設になるのであれば、学童保育の対策も同時に考える必要がある。こういう入所措置を取らねばならないことで保育の継続性がとぎれ、私たちNPOの1～6年生の継続した生活と発達を保障するという学童保育のポリシーが実現できないもどかしさを感じている。クラブ数の増加は、NPOの支援員の確保という課題もあるが、保護者の切実な思いを受けとめ、施設整備は町の責任において進めていってほしい」とまとめました。



## ◆ぼちぼちいこ会(不登校を考える親たちの集い)

2か月に一度程度、「不登校」「学校に行きづらい」などのキーワードについて考える親たちの集いを開催しています。参加者は5～10名程度で、「ちょっと聞いてみたいな」「話してみたいな」「ほかの方は、どうされているのか」と、考えたり悩む人、悩んだり考えていた人たちが参加しています。何か結論が出るわけではありませんが、少し考えが広がったり話すことで気持ちが軽くなったり、共感することがあります。

4/26(金)は新年度に入って初めての集いでした。5名(会員3,職員1,他1)が参加し近況を話しました。5月から開設される教育支援センターの話題、健康がまず大事といったことなど話題は尽きませんでした。

◇次回開催 \* 6/21(金) 19:30頃より～21:45 場所 煉瓦館コミュニティ支援室

参加を希望する方、興味がある方は、NPO事務所(451-1550)までご連絡をお願いします。

(報告 荻田千津子)

## ◆サタデーパーク(くまとり元気広場)

サタデーパークの開催予定は下記の通りです。

◇6/1(土)北コミ、7/6(土)煉瓦館、8/31(土)北コミ 時間：10～12時

誰でも自由にご参加いただけます。子どもと土曜日の遊び場を探しているお父さんやお母さん、お孫さんのこもりを頼まれているおじいちゃん、おばあちゃん、幼児もいっしょに遊びにきてください。

(報告 石川 千枝)

## ◆ファミリー・サポート・センター くまとり

「子育てを手伝ってほしい人(依頼会員)」と「子育てのお手伝いができる人(協力会員)」が会員となり、会員同士がお互いに助けたり助けられたりして子育ての援助を行う、住民同士の相互援助活動で、センターはその橋渡し役として活動をしています。

2023年度はサポート依頼数が1,652件と開設以来一番多い年となりました。2024年度も4月からのサポート依頼数は162件となっています。こんなに多くのサポート依頼を成立させるには、多くの協力会員の力が必要です。仕事をしながらのすき間時間や、定年退職後に養成講座を受講されてサポートを手伝ってくださる方、子育てをしながらご自分のお子さんが小学校や中学校に行っている間に預かりができるという方が活動されています。興味のある方はぜひご連絡ください。

問い合わせ 072-452-6002 (平日10時～17時)

\*協力会員説明会 5/15(水) ①午前10時30分～ ②午後1時～ 教育・子どもセンター1階会議室

### 2024年度5月～7月の協力会員養成講座のご案内

\*第1回 5/30(木)「乳幼児の事故対応と救命入門コース」10時～12時

場所：教育・子どもセンター1階会議室

講師：泉州南広域消防本部救急救命士

\*第2回 6/27(木)「こども感染症と小児の食物アレルギーについて」10時～12時

場所：煉瓦館コットンホール

講師：山内 淳さん(にわ小児科院長)

\*第3回 7/9(火)「保育の心 ～子どもの心を大切に～」10時～12時

場所：教育・子どもセンター1階会議室

講師：前川 良太さん(つばさ共同保育園長)

会員でなくてもご参加いただけます。どうぞお気軽にセンターまでお問合せください。

(報告 福岡久美子)